

有明海で「ガザミ」が獲れました！

西有家町・有家町漁協では、有明海で獲れた大量の「ガザミ」が水揚げされました。禁漁前には、抱卵前のガザミを見ることが出来ます。

ガザミは、波の穏やかな内湾の水深30m近くに生息しています。夜行性で、昼間は砂泥の中に潜っています。餌をとるために夕方から朝方にかけて浮上してきたところを捕獲されます。海藻も食べますが、肉食性が強く、小魚や貝類など小動物を捕食します。寿命は、雄で1年半、雌で3年と言われています。水温が下がるとともに、餌をとることをやめ深い場所へ移動し、冬を過ごします。

*長崎県では、「有明ガネ」や「たいらガネ」の愛称で知られています。



ガザミ資源の保護・回復 に取り組んでいます!!

有明海では、ガザミの資源が大きく減少していることから、資源回復のために

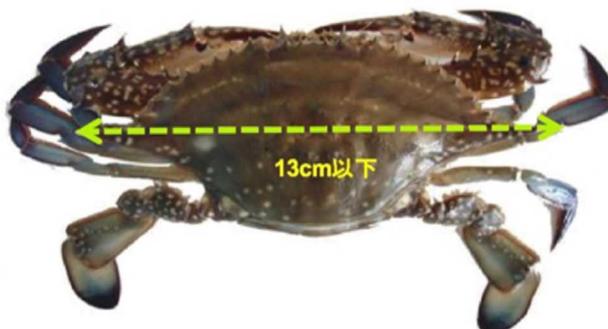
- ①卵を持っている雌ガザミの保護
- ②小型ガザミの再放流（全甲幅長13cm以下）
- ③たも網その他のすくい網による採捕禁止（6/1～6/15）*
*漁業者だけでなく一般の方も採捕禁止
- ④軟甲ガザミの再放流に努める
- ⑤種苗放流

などに取り組んでいます。



卵を持っている雌ガザミは放卵するまで保護しています。

資源保護、価値向上を図るため、軟甲ガザミの再放流に努めます。



甲羅の長さが13cm以下の小型ガザミは再放流しています。

皆様のご理解、ご協力をお願いします。

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県 水産庁九州漁業調整事務所
(問合せ先：TEL092-273-2004)